

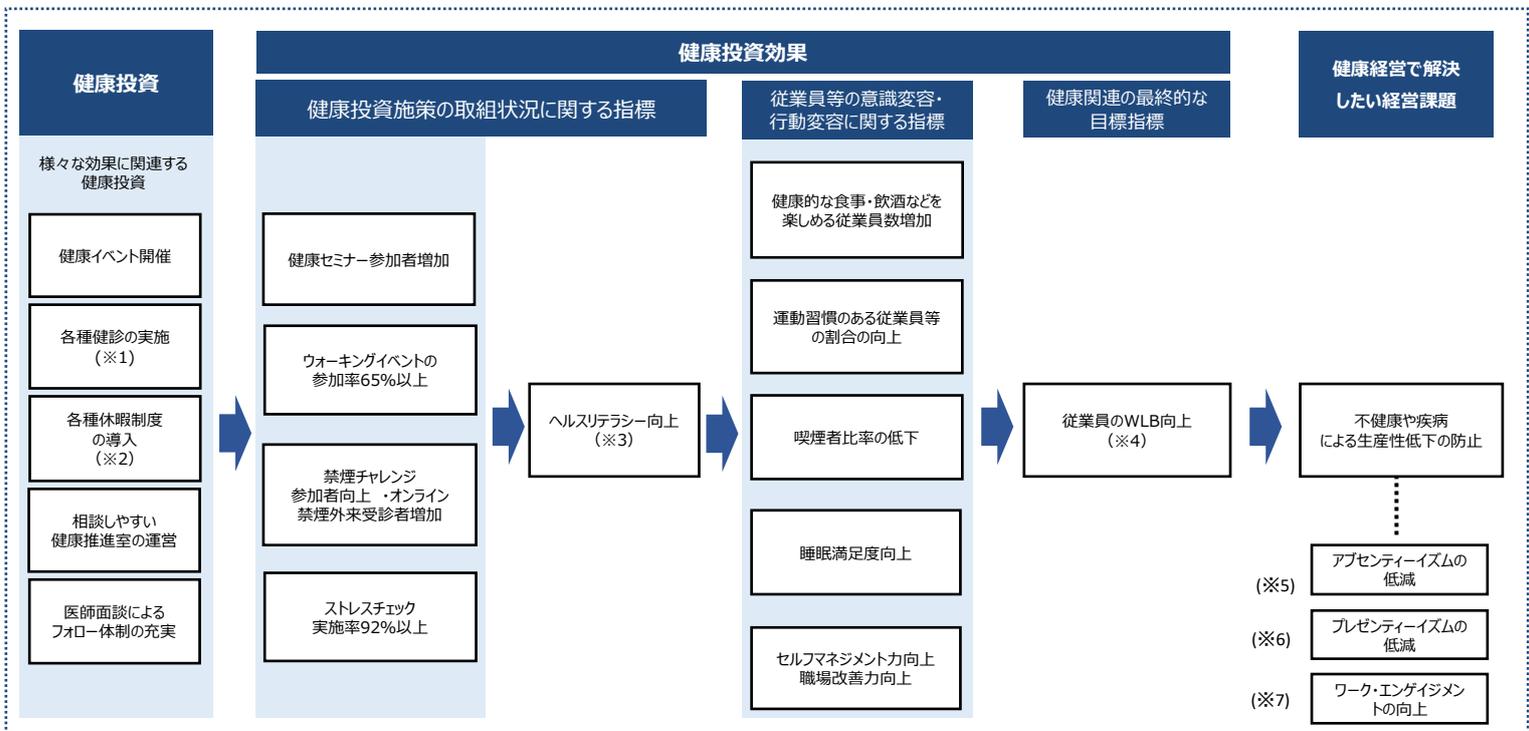
【健康経営の実施により期待する効果】

体調不良による休業（疾病休業日数率）低減 ⇒ 組織活性化 ⇒ 事業継続安定

〈背景と課題〉 工場操業から30年以上経過し、従業員の高齢化に伴う疾病リスクの上昇が課題です。元気に働き続けて欲しい信念のもと、健康経営に力を入れ、疾病休業率低減を目標に様々な施策を企画、運営、実行していきます。

〈具体的な数値目標〉 疾病休業日数率（有給休暇含）2023年度末0.5
 〔従業員が体調不良で休む日数を1ヶ月に1日として換算（1日で回復することを目標）〕
 〔5年間の推移〕 2018（1.5）2019（1.05）2020（0.78）2021（1.48:感染症で上昇）2022（1.31）

〔健康経営戦略マップ〕



社会的価値

在席する従業員だけでなく退職した従業員および家族が高いQOLを維持すること

企業価値

生産性向上により従業員等1人当たり営業利益の増加

- ※1 各種オプション健診（社外実施含む）：婦人科（子宮頸がん・乳がん）、脳ドック（MRA/MRI）、肺ドック（肺CT）、配偶者健診など
- ※2 各種休暇制度：年次休暇、結婚休暇、忌引休暇、女性従業員の産前産後休暇、出産育児サポート休暇、赴任休暇、通院休暇（妊産婦）積立休暇、生理休暇、コロナワクチン接種に伴う休暇、コロナ感染症家族支援休暇、コロナ感染症陽性もしくは濃厚接触者に対する休暇制度など
- ※3 ヘルスリテラシー：健康や医療に関する正しい情報を探したり、活用したりする能力
- ※4 WLB：ワークライフバランス
- ※5 アブゼンティーズム：傷病による欠勤
- ※6 プレゼンティーズム：出勤はしているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状況
- ※7 ワークエンゲイジメント：仕事に対してポジティブで充実している心理状態。活力・熱意・没頭の3つの要素が兼ね備えられた状態

【健康課題と目標】

- ・**血圧リスク者率**（収縮期血圧 180 mmHg以上または 拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合）
2019年 0.0% 2020年 0.2% 2021年 0.2% 2022年 0.3% <目標値> 0%
- ・**血糖リスク者割合**（空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合）
2019年 0.3% 2020年 0.0% 2021年 0.3% 2022年 0.0% <目標値> 0%
- ・**適正体重維持者率**（BMI 18.5~24.9）
2019年 68.4% 2020年 71.1% 2021年 68.8% 2022年 69.5% <目標値> 75%
- ・**精密検査受診率**
2019年 86.5% 2020年 84.6% 2021年 87.2% 2022年 86.0% <目標値> 100%
- ・**疾病休業日数率** = 休業日数合計値 / 同月度所定内就業日数（1日単位の体調不良による休暇含む）
2018年 1.5 2019年 1.05 2020年 0.78 2021年 1.48 2022年 1.31 <目標値> 0.5以下
- ・**メンタルヘルス長欠休職率**
2020年 13/604=2.15% 2021年 11/615人=1.78% 2022年 7/619人=1.13% <目標値> 0%
- ・**疾病（傷病）による休職状況**
2020年 8/604=1.32% 2021年 2/615人=0.32% 2022年 2/619人= 0.32% <目標値> 0%
- ・**有給休暇取得率**
2020年 70.5% 2021年 82.6% 2022年 86.3% <目標値> 90%以上
- ・**平均有給休暇取得日数**
2020年 14.1日 2021年 16.5日 2022年 17.0日 <目標値> 20日以上
- ・**月平均所定外労働時間**
2020年 24H 2021年 19.2H 2022年 17.2H <目標値> 15H以下
- ・**離職状況（離職率） ※定年退職を除く**
2020年 1.14% 2021年 1.9% 2022年 1.28% <目標値> 1%以下
- ・**平均勤続年数**
2020年 19.59 2021年 20.25 2022年 20.76
- ・**産休育休取得率、産休育休後復職率**
どちらも100% <目標値> 100%維持
- ・**プレゼンティーイズム**
（ストレスチェックから算出 MIDASという片頭痛の支障度を測定する評価尺度を参考にオリジナルの尺度を採用）
回答者数・回答率 2021年586名97.2% 2022年568名95.5%
損失割合 2021年 -% : 7.3日 2022年 1.27% : 1.88日 <目標値> 0% : 1日以下
パフォーマンス度 2021年 59.2% 2022年 72% <目標値> 80%以上
- ・**アブセンティーイズム**
（ストレスチェックから算出 MIDASという片頭痛の支障度を測定する評価尺度を参考にオリジナルの尺度を採用）
回答者数・回答率 2021年586名97.2% 2022年568名95.5% 2021年3.6日 2022年1.27日 <目標値> 1日以下
- ・**ワークエンゲイジメント**
（21年ストレスチェック、22年はエンゲイジメント調査から算出。ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度を採用） <目標値> 4点
回答者数・回答率 2021年586名97.2% 2022年 505名95.3% ※22年度は健診時実施
2021年2.3 2022年2.54
- ・**高ストレス者率**
2018年 16.9% 2019年 16.5% 2020年 14.3% 2021年 13.6% 2022年 12.0% <目標値> 10%以下
【ストレスチェック平均点】

	2020年	2021年	2022年		2020年	2021年	2022年
仕事に満足	2.3点	2.3点	2.3点	仕事のコントロール	7.6点	7.8点	7.7点
仕事の量的負担	8.8点	8.4点	8.4点	働きがいのある仕事	2.4点	2.3点	2.3点
上司の支援	7.1点	7.2点	7.0点	同僚の支援	7.8点	7.8点	7.8点
- ・**運動習慣**（1週間に2回・1回あたり30分の運動を実施）率 <目標値> 30%以上
2020年 40才以上 14.1% 2021年 40才以上18.9% 全体18.2% 2022年 40才以上15.7% 全体15.9%
- ・**健康経営施策投資額** 1人当たり約6万円（2021年度・2022年度）※健診、ストレスチェック、感染症予防、福利厚生費等
- ・**ヘルスリテラシーの向上：教育機会の充実** 2023年実績：全社e-learning実施率98.6% <目標値> 100%
【その他の健康教育実施状況】
2022年 4月予防歯科セミナー 60名参加（オンライン含む）
9月下旬健診時にベジチェック実施（請負・協力会社含む）
11月山陰ヤクルト健康教室（腸活）61名参加（請負・協力会社含む）：満足度98% わかりやすさ96%
2023年 2月幹部教育（産業医によるストレスチェックFBを含めた研修）全員参加：満足度91%
4月上旬健診時にAGEs(最終糖化産物)チェック実施（請負・協力会社含む）
5月健康増進 RIZAP運動オンラインセミナー全社案内実施
6月オンラインセミナー全社案内実施（肩こり・腰痛、運動、ヨガ 各回1時間）
幹部DVD教育 ストレスチェック 部下との関わり方について 全員参加
運動指導+禁煙教育研修 33名参加（請負・協力会社含む）※データ化して社内・請負協力会社に展開予定
e-learning実施：腰痛について 実施率：98.6% <目標値> 100%
- ・**（その他のヘルスリテラシー向上に向けた取り組み）**
・ウォーキングイベント実施：参加率 2021春 58.4% 2021秋 65.1% 2022春 70.6% <目標値> 75%以上

【安全衛生の取り組み】

- ・安全衛生委員会開催状況
2022年度：5月23日,6月20日,7月22日,8月29日,9月22日,10月27日,11月21日,12月22日,1月27日,2月27日,3月27日,4月28日に開催（請負・協力会社との安全衛生委員会も同様の内容で毎月実施）
- ・労働災害 2022年度 2件 <目標値> 0件